



(番組)

狂言 文 荷

(和泉流)

シテ アド アド  
三宅右近 三宅近成 高澤祐介

(休憩二十分)

能 大江山

(宝生流)

シテ ワキ ワキツレ

宝生和英 野口能弘 野口琢弘 吉田祐一 梅村昌功 館田善博 大日方寛 則久英志 三宅右矩 前田晃一 藤田次郎 観世新九郎 小鼓 柿原弘和 大鼓 真佐人 太鼓 真佐人

●文荷(ふみにない)

太郎冠者と次郎冠者は、主人からことづかった稚児の千満あての手紙を届けに出かけます。二人は使いの途中、主人の悪口を言いながら交代で手紙を持って行きます。やがて手紙を竹に結び付けて二人で担い、謡曲「恋重荷」の一節を謡いながら先を急ぎます。しばらくすると何故か手紙が重くなってきました。何が書いてあるのか気になった二人は、とうとう手紙を開けて読んでしまいます…。

●大江山

源頼光は、丹波国大江山に住む鬼を退治せよと勅命を受け、山伏に変装して都を出立します。やがて大江山に着き、途中で迷ったこととして酒呑童子の家に一夜の宿を求めます。一行に他意のないことがわかり、童子は安心して一行を迎え入れ、隠れ住んでいるのを見つけられたことを嘆きつつ、昔の経歴を語ります。酒宴を開いて山伏を歓待しますが、やがて童子は酔って寝室に入ります。夜が更けるのを待って頼光たちは寝室に斬りこむと、そこには童子が鬼神の姿で臥していました…。

「御伽草子」などで著名な頼光の鬼退治を舞台化した作品で、「土蜘蛛」「羅生門」などとともに、源頼光の武勇伝説に取材した演目のひとつです。

◆主催・お問合せ◆

公益財団法人 都民劇場

〒104-8077 東京都中央区銀座5-1-7

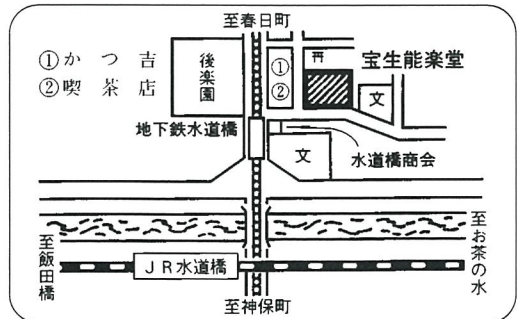
数寄屋橋ビル6階

03 (3572) 4311

●事務局受付時間

平日10時~17時(土・日・祝=休み)

<http://www.tomin-gekijo.or.jp>



【宝生能楽堂への交通】

JR(東口)又は 都営地下鉄(A1出口) 水道橋下車  
〒113-0033 文京区本郷1-5-9 03-3811-4843